

戯曲を書いてみたいな、と思いつきに向かう。でもいざ書き始めると、「頭の中にアイデアがあっても、書き出すとよくわからなくなって投げ出してしまう」「ちょっと書いてみたい場面はあるんだけど、前後のつながりがまったく浮かばない」そんな経験はありませんか？

「**短編戯曲を書くための小さなゼミ**」は、参加者に小さなアイデアを持ち寄ってもらい、そのひとつひとつに対してプロット(戯曲の設計図のようなもの)をつける作業を参加者全員でおこなう場です。その後も定期的に集まって台本の進み具合を共有したり、参加者同士気軽にしゃべりしながら、最終的には1人1作、短編戯曲を書き上げることを目標とします。

最初に必要なものはただひとつ。「**20~30分程度の上演を前提とする戯曲のアイデア**」を持ってくること。

優れた映画の脚本の多くが共同で執筆されていますし、あるいは良い小説には優れた編集者がついているものです。「書く」という行為はとても孤独な作業ですが、書きかけのテキストを途中で共有したり、煮詰まったときにアイデアと一緒に考えてくれる仲間がいることで、グッと戯曲を「書き終える」ことができるようになるんじゃないかと個人的な経験から思います。

書くことに挫折したことのある人も、今書いている本よりも面白いものをつくりたい人も、あるいは詩や小説は書いたことがあるけど、やったことのない表現形式に挑んでみたい人も、ふるってご参加ください!!

屋根裏ハイツ 中村大地

**スケジュール** A日程、B日程どちらかに通して参加(各回A・Bは同じプログラムです) ※全回参加できない方もお気軽にご相談ください。

**A** 日程: 2023年11月25日(土) / 2024年1月27日(土) / 2月17日(土) / 3月17日(日) 各回13:00~19:00ごろを予定。  
**B** 日程: 2023年11月26日(日) / 2024年1月28日(日) / 2月18日(日) / 3月17日(日) ※最終日(3月17日)のみ、13:00~22:00

**会場** **せんだい演劇工房10-BOX** (仙台市若林区卸町2丁目12-13) 地下鉄東西線「卸町駅」下車、「北1」出口より徒歩約10分

「**戯曲ゼミ**」の流れ! ※この「戯曲ゼミ」は作家ガルシア・マルケスがかつておこなっていた「シナリオ教室」のアイデアをもとにおこないます。

<b>事前準備</b>	参加者はそれぞれ、「 <b>上演を前提とする20~30分程度の戯曲のアイデア</b> 」を用意する すごく短くても、綿密に決まってもOK!! (過去にはたった2行のアイデアを持ち込んだ人も!)
-------------	---

[第1回] アイディアをプロットにする

<b>A</b> 11月25日(土) <b>B</b> 11月26日(日)	<b>Step.1 アイディアを共有する</b> 持ち込んだアイデアを元に参加者全員で話し合い、一本のプロットにします。 参加人数分の短編戯曲のプロットができあがります。	<b>Step.2 書く</b> さあ、一本のプロットを持って台本を執筆しましょう!! 台本を書いたことがなくても大丈夫。 悩んだ場合はお気軽にご相談ください。一緒に伴走します!
--	---	--

[第2回] 初稿発表

<b>A</b> 1月27日(土) <b>B</b> 1月28日(日)	<b>Step.3 初稿を共有する</b> 初稿(ここまで書けたこと)を共有し、お互いに読みあって気になるところ、感想をシェアします。もちろん全編出来ていることが望ましいですが、途中のものであっても構いません。	<b>Step.4 また書く</b> 第2回をふまえて、次のメ切に向かって再び書きます。 途中で悩んだら他の参加者に相談してみるのもありかもしれません。
--	--	--

[第3回] 第2稿発表

<b>A</b> 2月17日(土) <b>B</b> 2月18日(日)	<b>Step.5 第二稿を共有する</b> ふたたび集まって台本を読み合います。ゴツゴツした原石が、魅力的なゴツゴツを残しながら、だんだんと磨かれて整えられていく、そんな場所になったら良いと思います。	<b>Step.6 またまた書く</b> 仕上げの作業です。とにかく、粘れるところは粘って、変えるところは大胆に変えたりしながら、書き上げましょう。
--	--	---

[第4回] 最終稿披露

<b>A</b> <b>B</b> (共通) 3月17日(日)	<b>Step.7 発表会</b> 最終日、A日程・B日程の両チームがはじめて出会う、それぞれが書き上げた「新作」を読み合います。その様子を一般公開します。 できたてほやほやの作品を観客とも共有しましょう。 ★完成した作品は、それぞれ書き上げた人のものです。どこで上演しても、なにかの戯曲賞に応募しても、もちろん構いません!!
------------------------------------	--

**料金** 一般 4,000円 U-25 2,000円 ※全4回・通し受講

**定員** 各日程 5名程度 (要申込・先着順・定員に達次第、受付終了)

**お申込み**

せんだい演劇工房10-BOX HP (<https://www.gekito.jp>) 内のフォーム、またはE-mail ([contact@gekito.jp](mailto:contact@gekito.jp)) や電話 (022-782-7510 [10:00~21:00]) にて、講座名・氏名・希望日程・ご連絡先をお知らせください。



講師プロフィール

中村大地 (なかむら・だいち)

劇作家・演出家。1991年、東京都府中市生まれ。宮城県仙台市で演劇を始め、現在は東京に在住。屋根裏ハイツでは全ての作品の作・演出を務める。外部へのテキスト提供・演出も多数。『ここは出口ではない』で第2回人間座「田畑実戯曲賞」を受賞。「利賀演劇人コンクール 2019」で優秀演出家賞一席となる。一般社団法人NOOK理事。2020年度 ACY-U39アーティストフェローシップ。

渡邊時生 (わたなべ・はるか)

俳優、制作、フライヤー作り、Web周り。1992年、福島県生まれ。2013年の劇団立ち上げから参加。2015~2017年、こまばアゴラ演劇学校・無隣館に2期生ドラマトゥルクとして所属。主な仕事は、青年団リンク キュイ『汗と涙の結晶を破壊』演出助手、青年団リンク キュイ『前世でも来世でも君は僕のことが嫌』(15 Minutes Made版) 出演、宮部企画『ウズベキスタンにムラムラする』ドラマトゥルクなど。

お問い合わせ | **せんだい演劇工房10-BOX** TEL: 022-782-7510 E-Mail: [contact@gekito.jp](mailto:contact@gekito.jp)